

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（3月7日-13日）の新規陽性者数は、4,496人（先々週 5,497人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)^{*1}は0.89 [最小値0.33-最大値1.10]、このうち那覇市は0.92 [0.34-1.25]でした。また、宮古は1.07 [0.43-1.79]、八重山は0.73 [0.46-1.00]でした（図1）。全県的に流行は下げ止まったまま推移しています。

*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

年齢階級別推移

年齢階級別では、10代が993人（22%）と最多であり、10歳未満715人（16%）、40代698人（16%）と続きます（図2）。1月24日の週以来、6週間にわたって10歳未満が最多でしたが、先週より10代に入れ替わりしました。10代のみ新規陽性者数が増加していますが、その他の年代では減少しています（図3）。

10代のうち、新規感染は18歳に275人と集中しています（図4）。保健所の疫学調査によると、高校3年生の卒業パーティや卒業旅行による集団感染が複数確認されるなど、卒業関連イベントで感染が拡がっているようです。

幼年・若年層

学校別では、保育・幼稚園児175人（先々週 311人）、小学生604人（先々週 697人）、中学生181

人（先々週 211人）、高校生260人（先々週 207人）でした。高校生以外は減少しています。保健所による疫学調査によると、いずれの層でも家庭内感染が最多であり、次いで、保育・幼稚園児では園内感染、その他の層では友人が多くなっています（図5）。

保健所管区域別・市町村別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部222人（先々週 328人）、中部1,869人（先々週 2,162人）、那覇市934人（先々週 1,109人）、南部1,194人（先々週 1,572人）、宮古79人（先々週 63人）、八重山144人（先々週 232人）でした（図6）。

人口1万人以上の市町村別（人口10万人あたり7日間合計）では、多い順に金武町492（先々週 430）、北中城村441（先々週 269）、嘉手納町416（先々週 230）でした（図7）。金武町では、56人の新規陽性者を認め、このうち高齢者は1人だけであり、若い層での感染が続いています。

なお、県外からの渡航者は53人（先々週 33人）であり、このうち東京都20人、大阪府6人、埼玉県5人、愛知県5人でした。全国的に報告数が減少しているにも関わらず2週連続で増加しています。

入院患者数推移

入院患者数は、先週末（3月13日時点）で197人と1週間前より91人減少し、酸素投与など中等症患者は123人と1週間前より14人減少しています。また、気管挿管など重症患者は1人と1週間前と変わりません（図8）。この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が、先週末（3月13

日時点)で11施設に68人おられ、1週間前より59人減少しています。

なお、先週末(3月13日時点)における病床占有率は、沖縄本島32.8%、宮古地区9.1%、八重

山地区27.3%となっています。高齢者の新規陽性者の減少が続いていることから、現在は受け入れ病床に余裕があります。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、若者を中心に流行が続いていますが、高齢者で減少が続いていることから、医療への負荷は限定的となっています。

先週は4,496人(1日あたり642人)の新規陽性者でしたが、入院調整を要したのは102人(1日あたり14.6人)にとどまっています。なお、第6波で最も入院調整を要した人数が多かったのは、1月17日の週で341人(1日あたり48.7人)でした。このように入院が減ってきている背景のひとつには、3回目となるワクチン接種が、高齢者の62.6%にまで進んでいることがあると考えられます。

今週の新規陽性者数は、4,000-6,000人と見込まれます。また、今週末までに入院患者数は200-240人に至り、うち重症患者数は1人前後と見込まれます(図9)。

先週、特徴的であったのは、高校3年生における感染拡大でした。県立高校では3月1日に卒業式が開催されましたが、新たな門出を前にして友人たちと別れを惜しむ時間があったのではないかと思います。コロナ禍で我慢を強いられた2年間でした。

今後、高校3年生に限らず、進学や就職、転勤などを前にして、イベントが企画されているのではないかと思います。ただし、多人数での飲食や宿泊は、感染拡大リスクとなります。できるだけ控えていただくか、検査で陰性を確認してから開催することを検討してください。

現在、県内の検査所では無料でPCR検査が受けられます。イベント3日前から検査陰性を確認いただくことにより、完全ではありませんが、集団感染のリスクをかなり減らすことが期待できま

す。

とくに、友人たちと懇親会を催した数日後に、親族との送別会を企画している場合には要注意です。高齢者が参加する場合はとくに、事前にPCR検査で陰性を確認することを強くお勧めします。もしも身近にPCR検査を受けられる場所がない場合には、イベント当日に医療用の抗原定性検査キットで陰性を確認してください。

また、春休み期間中に、親族などの訪問(帰省)や会食を予定されている高齢者、基礎疾患を有する方、そして肥満のある方などは、できるだけ3回目のワクチン接種を終わらせるようにしてください。

一般無料検査について(沖縄県ウェブサイト)

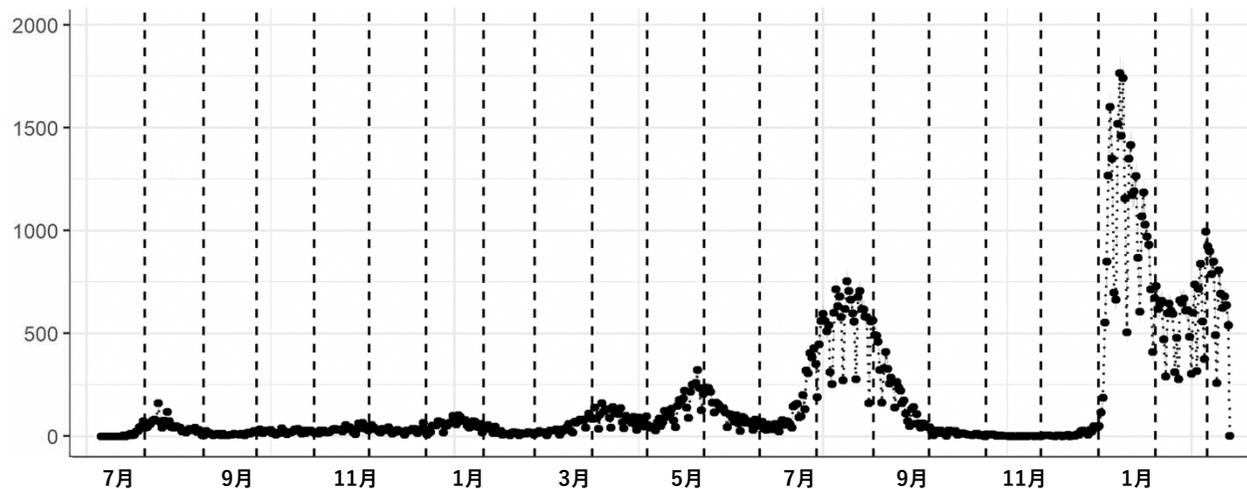
<https://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/kohokoryu/pcr-test/free-test/index.html>

図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

陽性者数 (確定日)

日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数

直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

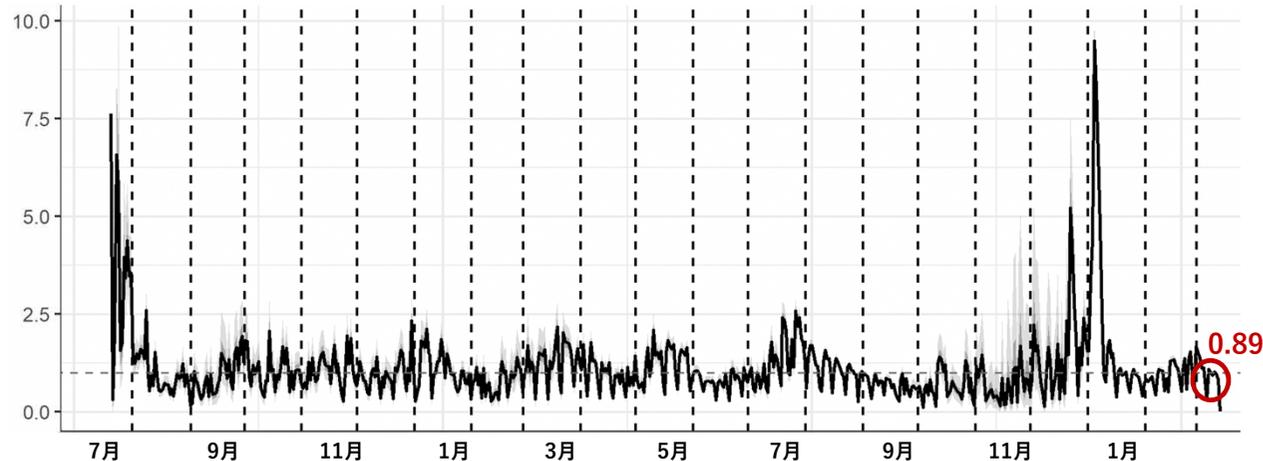


図2 性年齢階級別に見る陽性者数 (3月7日~13日)

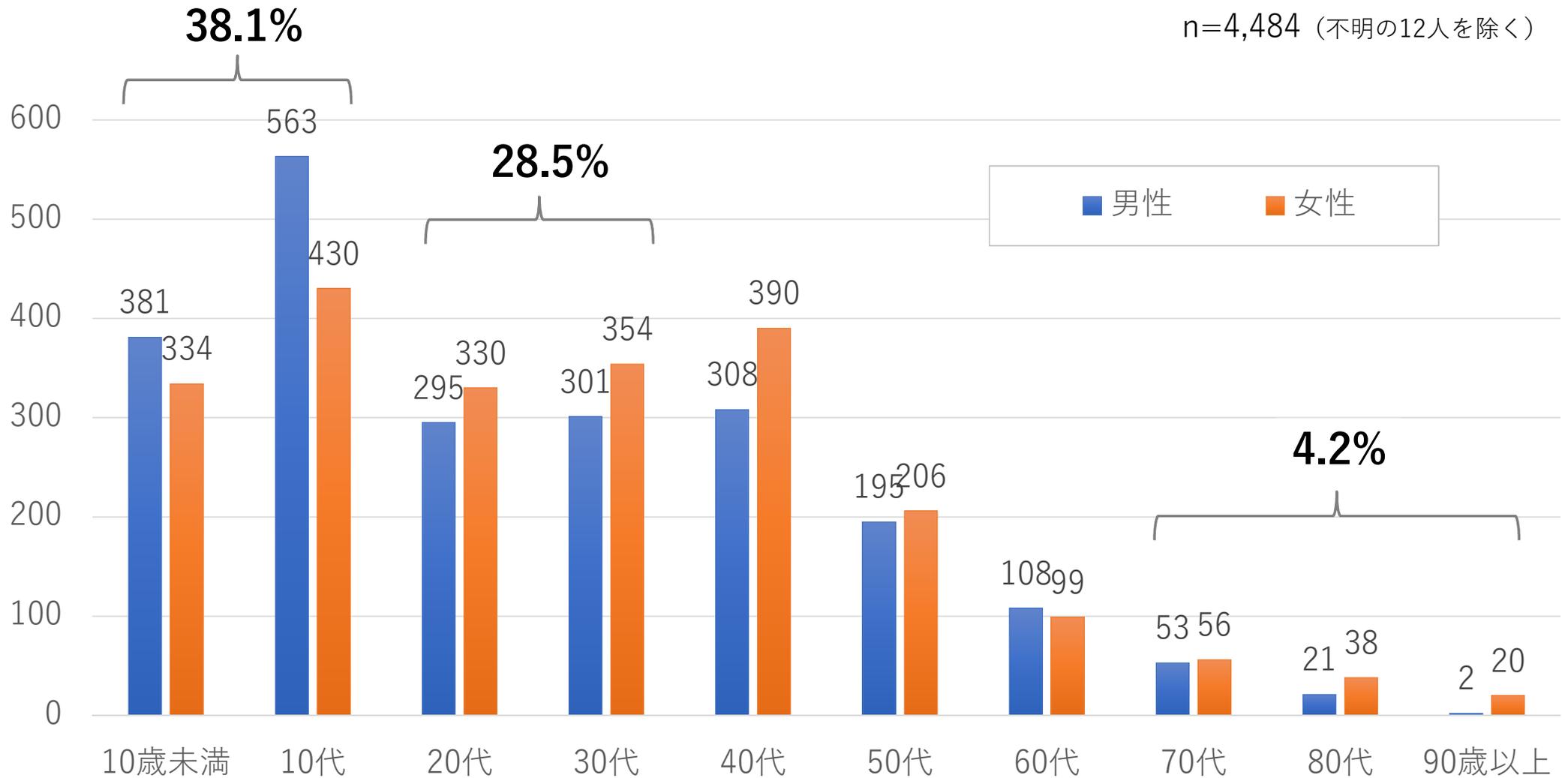


図3 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

まん延防止等重点措置

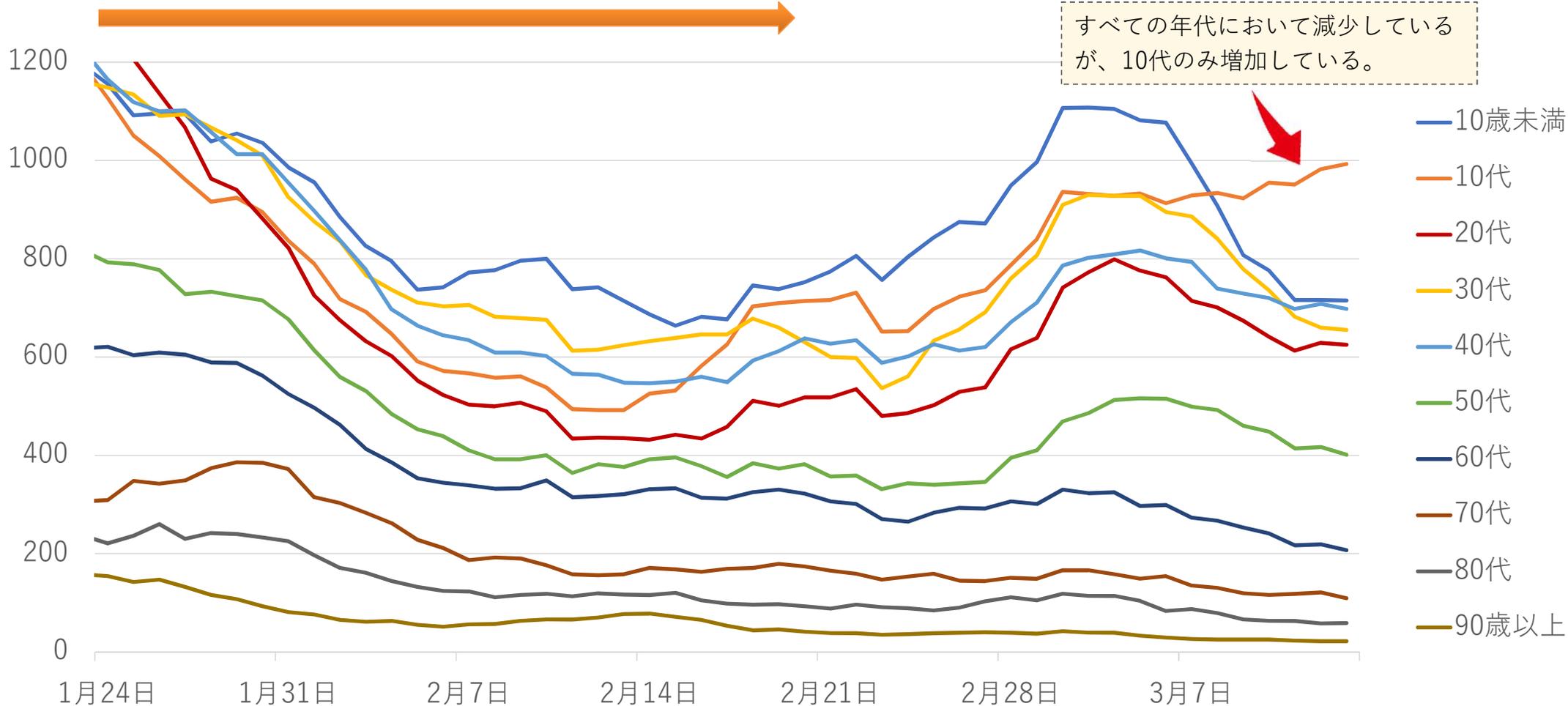


図4 年齢各歳別にみる新規陽性者数（3月7日～13日）

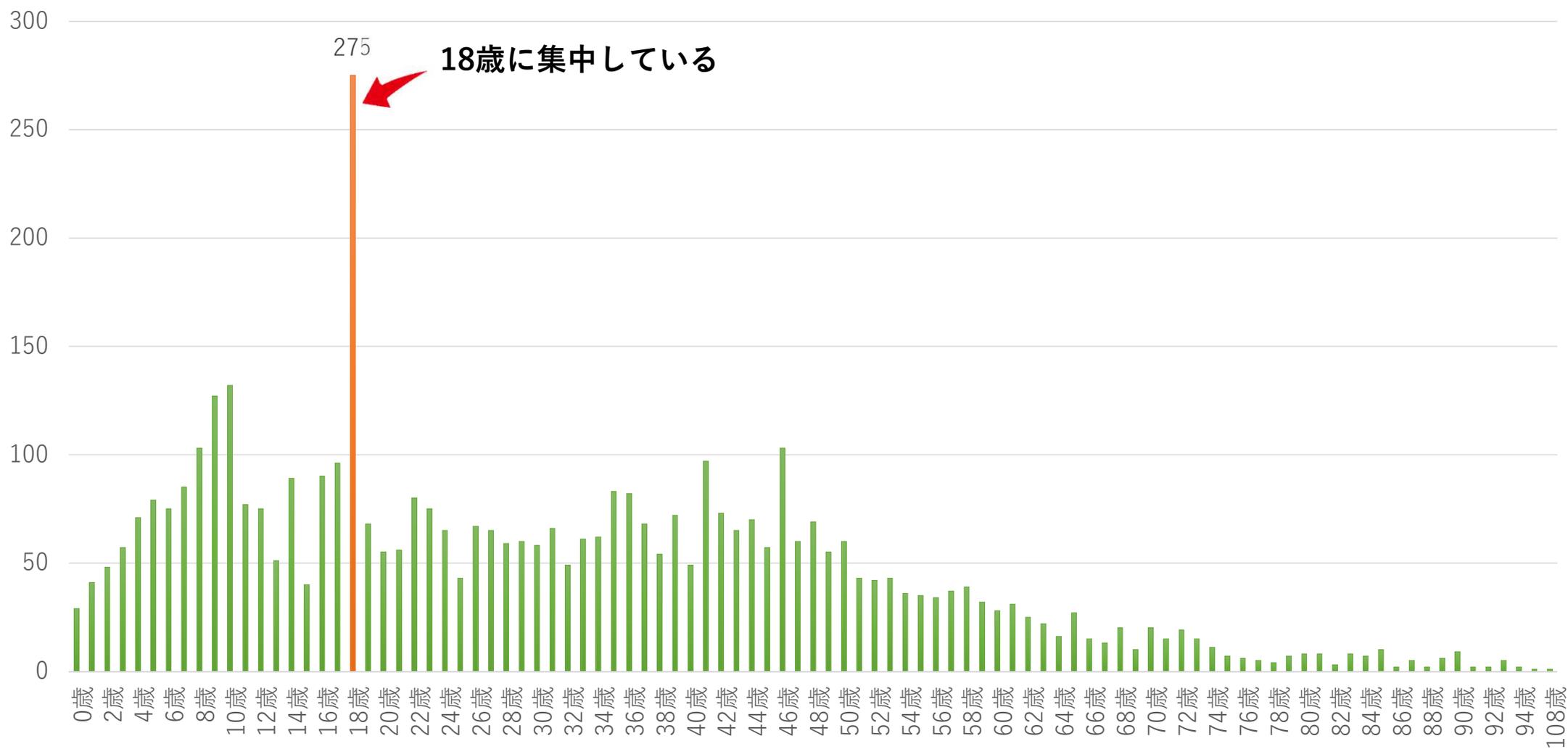


図5 幼年・若年層における推定感染経路（沖縄県）

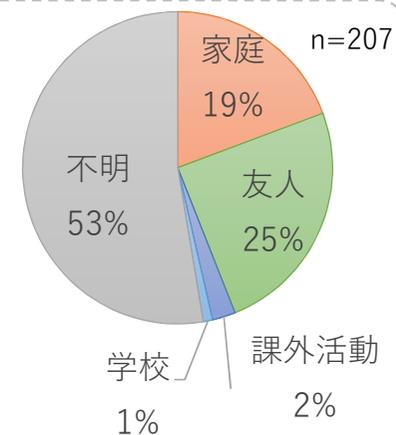
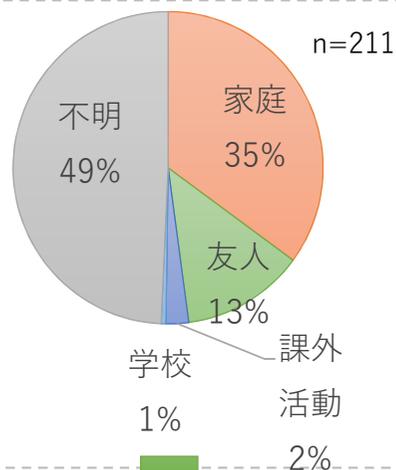
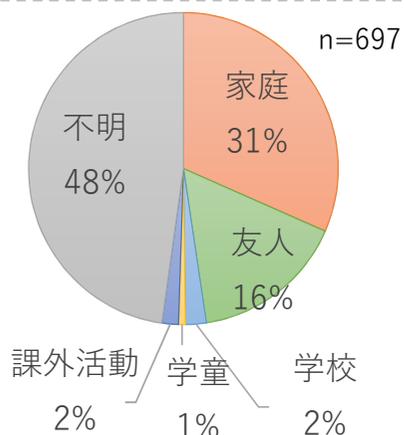
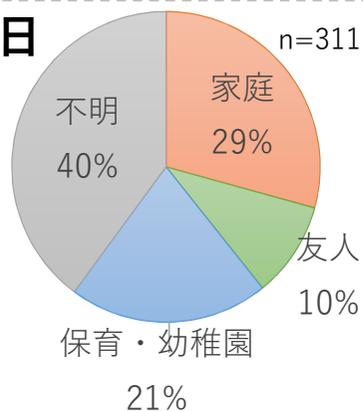
保育・幼稚園児

小学生

中学生

高校生

2月28日～3月6日



3月7日～13日

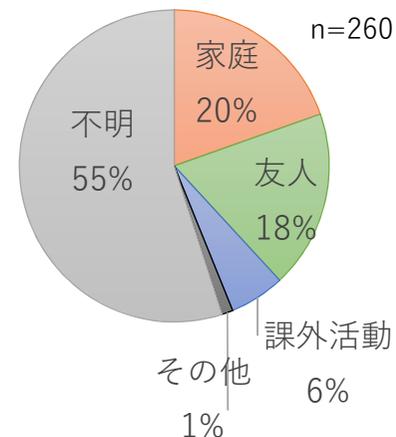
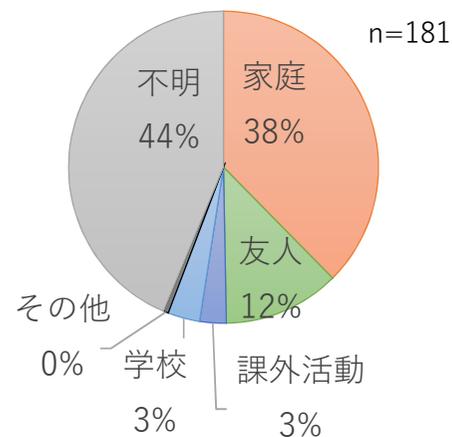
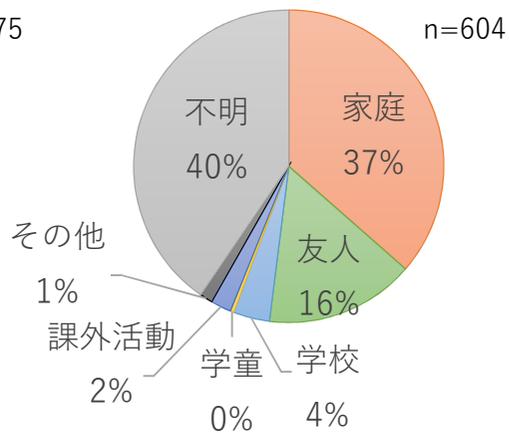
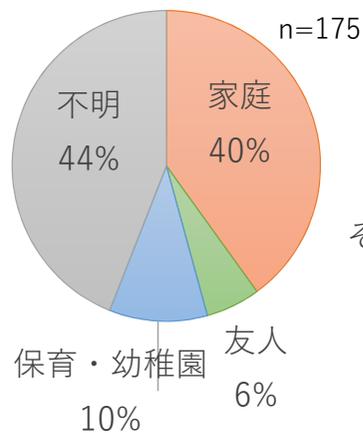


図6 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計

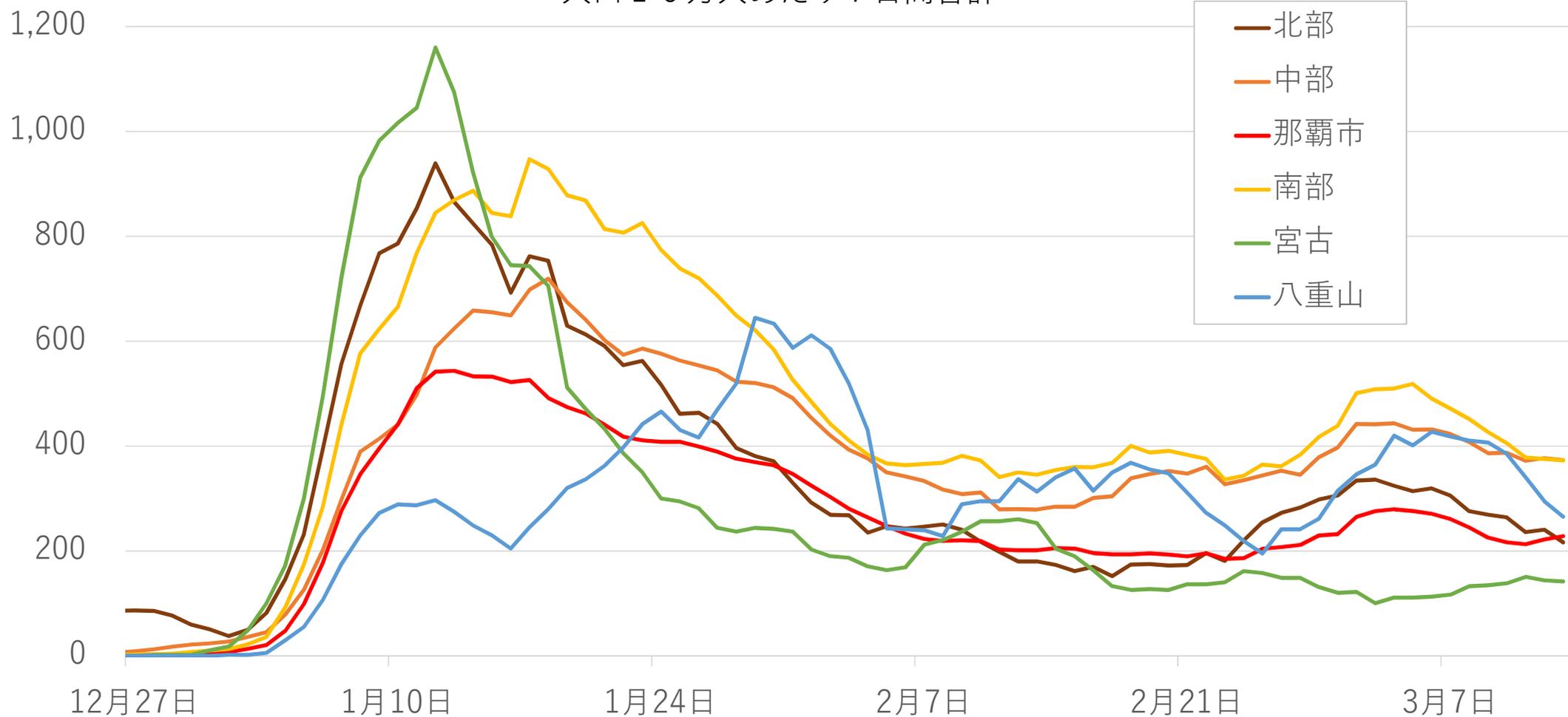


図7 沖縄県・市町村別ヒートマップ (3月7日~13日)

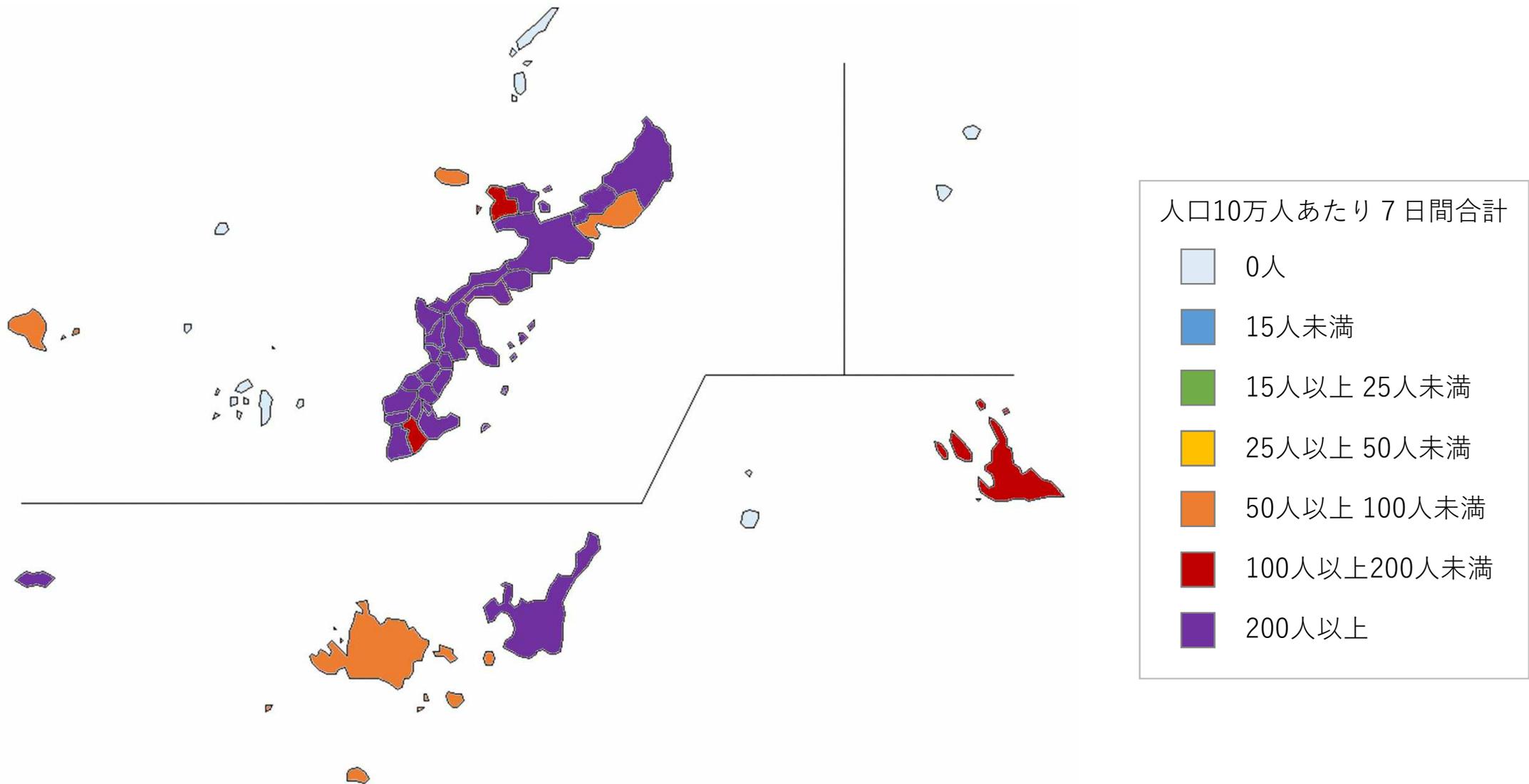


図8 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

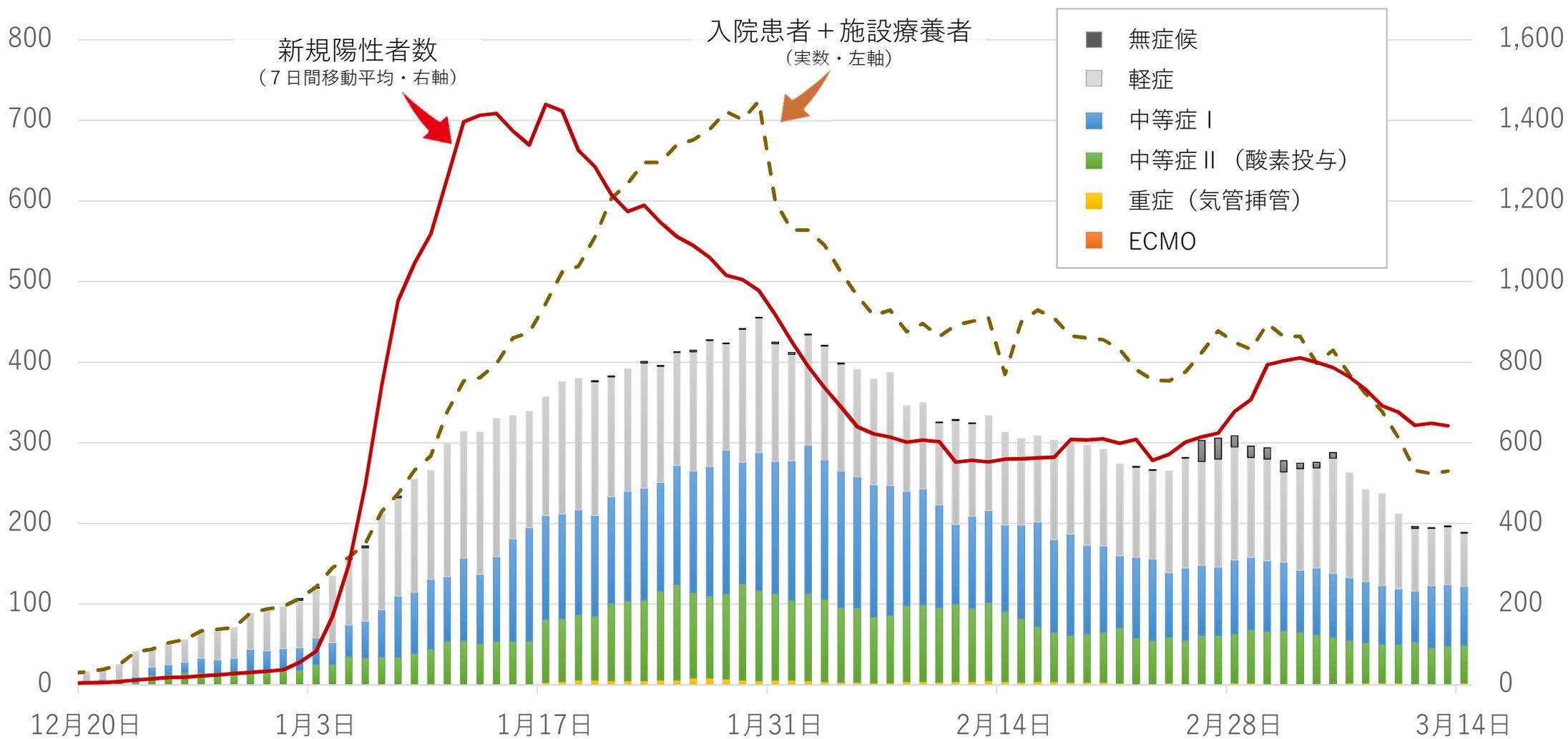


図9 今後1週間（3月14日-20日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）				入院患者数※				重症患者数※			
	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0
北部	117	235	473	953	21	24	30	39	0.0	0.0	0.0	0.0
中部	938	1,889	3,804	7,660	59	73	96	135	0.0	0.0	0.0	0.1
那覇市	451	909	1,831	3,686	48	56	71	95	0.6	0.6	0.6	0.7
南部	596	1,201	2,419	4,870	42	51	66	90	0.0	0.0	0.0	0.0
宮古	40	80	161	324	5	6	8	10	0.0	0.0	0.0	0.0
八重山	78	158	318	641	10	11	13	17	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2,221	4,472	9,006	18,135	184	222	283	386	0.7	0.7	0.7	0.8

※ 3月20日時点の見込み数

沖縄県疫学・統計解析委員会